

平成 28 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立 淀川中学校 学校協議会

1 総括についての評価

さまざまな取り組みが計画的に行われ、その結果については各検証シートによく分析され、ほぼ妥当であると考えられる。この 1 年の改革、改善の方向がつぶさに見られる。

2 年度目標ごとの評価

年度目標：学力の向上

- ・授業形態を工夫しながら授業を進め、また校内での授業研究や研修会に取り組み、わかる授業に取り組んでいる。大阪市平均との差が小さくなり、成果があらわれてきたことは評価できる。
- ・ I C T の活用に積極的に取り組んでいる。これからも調べ学習、討論など市の方針にそった学習面の工夫を今後も進めていただきたい。

年度目標：道徳心・社会性の向上

- ・あいさつ運動によりしっかりとあいさつができる生徒が多いことは、地域としても誇りに思う。今後も継続して登校指導をお願いしたい。
- ・道徳教育に関する研修や授業研究などに力を入れている。今後は「評価」を含め、小中連携していく必要がある。
- ・今年度、防災や人権問題などをテーマにした土曜授業を、地域や保護者も参加しながら実施したが、今後もぜひ継続してほしい。
- ・今年度からスタートした職業体験は生徒の今後の人生にも有意義である。今後も継続してほしい。
- ・3 年間を見通したキャリア教育の推進に取り組んでいただきたい。

年度目標：健康・体力の維持増進

- ・親子給食の実施を前に、小中で食育について連携を深めてもらいたい。
- ・発達段階に応じた性教育の授業展開が計画的に行われている。
- ・部活動が活発に行われていて、顧問の先生方には大変お世話になっている。今後も引き継ぎ指導をよろしくお願ひしたい。

3 今後の学校運営についての意見

- ・学力向上について、学習習慣の定着を含め、家庭での生活の在り方を指導していただきたい。
- ・校長室だよりやホームページの更新など積極的に情報公開を行っているが、今後とも積極的に行っていただき、地域に開かれた学校運営をお願いしたい。
- ・学校選択に関わって、地元中学への進学については小中連携を強化し、小学生が中学校で授業を受けることや出前授業を検討してほしい。
- ・スマートフォンなどの適切な使用についての更なる指導をお願いしたい。
- ・今後も子どもファーストの教育を推進していただきたい。